

プレスリリース「[国連大学：ボトル飲料水に関する新報告書](#)」添付資料

2023年3月16日

国連大学

安全な水を現在享受できていない20億人の人々に届けるために必要な年間投資額：
毎年ボトル飲料水に費やされる2,700億ドルの半分以下

国連の最新報告書によれば、急成長するボトル入り飲料水（以下、「ボトル飲料水」）産業が、「安全な水を世界中に」という重要な持続可能な開発目標の進捗を損なっている。

109カ国における先行研究やデータの分析に基づく最新報告書では、ボトル飲料水はわずか50年の間に「重要で本質的に独立した経済セクター」に成長し、2010年から2020年にかけて73パーセントの成長を記録した。2030年までには予想売上が2700億ドルから5000億ドルに上昇し、ほとんど倍になると予測されている。

本報告書はカナダに所在する国連大学の水・環境・保健研究所（UNU-INWEH）によって、世界水の日（3月22日）の数日前に発表された。報告書は、ボトル飲料水産業による無制限の拡大について次のように結論づけている。「飲料水の普遍的提供を実現するという目標に戦略的に沿っていないか、少なくとも世界的な進捗を失速させている。開発への努力を紛らわし、より信頼できず高価な選択肢に注目をそらしつつ、生産者に大きな利益をもたらし続けている。」

UNU-INWEHのカーヴェ・マダーニ新所長は次のように述べる。「ボトルドウォーターの消費拡大は、何十年にもわたる公共水道事業における発達不足や失策を反映しています。」

同所長によれば、持続可能な開発目標（SDGs）が2015年に合意された際、重要ターゲットである「安全な飲料水の普遍的提供」の達成には、2015年から2030年にかけて、年間1,140億ドルの投資が必要だと当時の研究者らが計算した。

本報告書によれば、安全な水を享受できていない20億人の人々に安全な水を提供するために必要な年間投資額は、ボトル飲料水に毎年費やされる2,700億ドルの半分以下である。

「世界的な、そして極端な社会的不正義の表れです。世界中で数十億人もの人々が安定的な水供給を受けられずにいるのに、その方らで一部の人々が高級飲料水を味わっているのです。」

水道水に対する認識

報告書が引用する調査によれば、グローバル・ノースでは、ボトル飲料水は水道水と比べてより健康的で味が良い商品、つまり必需品ではなく贅沢品と見なされている。グローバル・サウスでは、信頼のおける公共水道の不足や欠如、急速な都市化による上水インフラの限界などが、ボトルドウォーターの販売を後押ししている。

低・中所得国におけるボトル飲料水の消費は、水道水の質の低さや不安定な公共水道システムに関係している。こうした問題は多くの場合、腐敗や水道インフラへの慢性的な投資不足に起因する。

飲料メーカーは、一部で起きている公共水道システムの問題に注目を引くことで、水道水に対する安全な代替品としてボトル飲料水を売り込むことに長けている、と報告書の筆頭著者であるゼイネブ・ブルーレル UNU-INWEH 研究員が述べる。「一部の国々では水道水が良質であったり、もしくは水質を改善する余地があったりしても、水道水への世間の信頼を回復させるには、マーケティングや啓発に相当な努力を投じる必要があります。」

必ずしも安全ではない

ブルーレル博士よれば、水源（公共水道、表流水等）、処理方法（塩素処理、紫外線消毒、オゾン処理、逆浸透等）、保存状態（期間、露光量、温度）、パッケージ方法（プラスチック、ガラス）のいずれもが、ボトル飲料水の水質に変化をもたらす可能性がある。変化は、①無機のもの（重金属の混入、pH 値、混濁等）や、②有機的なもの（ベンゼン、殺虫剤、マイクロプラスチック等）、③微生物によるもの（病原菌、ウイルス、菌類、寄生原虫類）があり得る。

報告書によれば、「ボトルドウォーターのミネラル成分はメーカーによって、同じメーカーでも国によって、そして同じロットでもボトルによって、大きく異なり得る。」

報告書では、世界の全地域、実に 40 カ国以上で、何百社もの生産者のあらゆる種類のボトル飲料水に関して起こった汚染の事例を紹介している。

「今回の調査で、ボトル飲料水が絶対的に安全な飲料水であるとの誤解に基づく認識に対し、確たるエビデンスを示すことができました」とブルーレル博士は述べる。

ボトル飲料水は一般的に公共水道ほど厳しく監督されていない

報告書によれば、「ボトル飲料水は一般的にさほど規制されておらず、検査の頻度も低く、検査項目も少ない。水道水に関する厳しい水質基準はボトル飲料水には滅多に適用されず、同レベルの分析が実施された場合も、分析結果が公開されることは珍しい。」報告書によるこの分析の重要性を、共著者のヴラディミール・スマッティン UNU-INWEH 前所長は強調する。

スマッティン前所長によれば、行政の厳しい監督下に置かれてきた公共水道事業者と比べ、ボトル飲料水のプロダクサーはさほど精査されておらず、市場の急激な成長に鑑み、「産業全体、特に水質の規制に関する法令を強化することが、恐らく今まで以上に重要」となっている。

ボトル飲料水産業の環境への影響に関して、報告書によれば「取水に関して確認できるデータはほとんどない」。主な原因は、生産者に情報公開や、環境影響評価を義務づけるための透明性や法的基盤が不足しているからである。

「地域の水資源に甚大な影響が出ているかもしれない」と報告書は指摘する。

例えば、アメリカでは Nestlé Waters 社がフロリダ州の湧水から毎日 300 万リットルほど取水している。フランスでは、Danone 社がフレンチ・アルプスのエビアン・レ・バンから取水している量は、毎日最大で 1,000 万リットルにも上る。中国では、杭州娃哈哈合資公司（ワハハグループ合資会社）が長白山脈の水源から毎年最大で 1,200 万リットルも取水している。

プラスチックごみの問題に関しては、ボトル飲料水産業によって 2021 年には 6,000 億個ものプラスチック・ボトルや容器が生産されたとする推計が報告書では引用されている。これは 2,500 万ト

ンもの PET ごみに換算され、大半がリサイクルされることなく埋め立て処分される。この量のペットボトルごみの重さは 40 トンのトラック 625,000 台分に相当し、仮に縦列させたら、ニューヨークからバンコクを繋げられる距離である。

報告書によれば、2019 年には、ボトル飲料水産業は世界で生産されるペットボトルの 35% を利用し、そのうち 85% が埋め立て処分または不法投棄された。

数字で見る

報告書はデータ分析や世界的な研究や文献から得た情報に基づいており、ボトルドウォーターの産業の実態を明かします：

- 毎分、世界中で 100 万本以上ものボトルドウォーターが販売されている。
- 世界中で、1 人あたりの年間消費額は 34 ドル。
- 世界における 3 大ボトルドウォーター（処理水、ミネラルウォーター、天然水）の合計年間消費量は 3,500 億リットルと推定される。
- ボトル飲料水市場では 47% と最も大きな割合を占めているのは処理水（公共用水システムまたは表流水を水源とし、塩素処理など消毒が行われた水）
- ボトル飲料水を最も消費しているのはアジア太平洋地域の人々であり、次いで北アメリカとヨーロッパの人々の消費量が大きい。
- 世界におけるボトル飲料水の売上高の 6 割はグローバル・サウス（アジア太平洋、アフリカ、中南米）が占めている。
- 国ごとに見ると、アメリカの市場が最も大きく、売上高は 640 億ドルに上る。続いて中国（450 億ドル）とインドネシア（220 億ドル）の市場が大きい。これら 3 カ国を合わせると、世界市場の半分近くを占める。他の売上高上位国は、カナダ、オーストラリア、シンガポール、ドイツ、タイ、メキシコ、イタリア、日本である。
- 北アメリカとヨーロッパの平均的なボトル飲料水の価格は 2.5 ドルであり、アジア、アフリカ、中南米の平均価格（それぞれ 0.8 ドル、0.9 ドル、1 ドル）の倍以上である。5 番目に大きな市場であるオーストラリアでは最も平均価格が高く、3.57 ドルである。
- 1 リットルあたりのボトル飲料水の価格は、自治体による水道水の価格の 150 倍から 1,000 倍近く高い。
- 一人当たりの消費額が世界で最も高いのはシンガポールとオーストラリア。2021 年には、シンガポール市民の一人当たりのボトル飲料水の年間消費額は 1,348 ドル、オーストラリア市民は 386 ドルだった。
- 過去の研究によれば、ボトルドウォーターを主な飲み水としている人口は、カナダでは 31%、アメリカでは 38%、イタリアでは 60%。ドミニカ共和国では、60% の家庭がボトルドウォーターを主な用水として利用し、収入とボトルドウォーターとの間に強い相関関係が見られる。メキシコでは主な飲み水として 80% の人々がボトルドウォーターを、10% の人々が家庭用浄水器で濾過された水を使用し、90% の人々が理由として健康上の懸念をあげている。
- エジプトは処理水タイプのボトル飲料水の市場が世界で最も急成長している国（年 40% 拡大）。世界で最も急成長しているトップ 10 カ国のうち、エジプト以外にもグローバル・サウスから 7 カ国（アルジェリア、ブラジル、インドネシア、アラブ首長国連邦、インド、モロッコ、サウジアラビア）もランクイン。

- ヨーロッパで最も大きなボトル飲料水の市場が大きいのはドイツ、中南米ではメキシコ、アフリカでは南アフリカ。
- 販売量では、処理水がボトル飲料水市場に占める割合が最も大きいように伺われ、最も利益率が高いのは天然水のようなのである。
- PepsiCo 社、Coca-Cola 社、Nestlé S.A. 社、Danone S.A 社、Primo Corporation の 5 社の合計売上高は 650 億ドルであり、世界の売上高総計の 25%以上を占める。
- 過去に行われたインド、パキスタン、メキシコおよびネパールにおける取水量の調査によれば、Coca-Cola 社と Nestlé 社が 2021 年に取水した総量はそれぞれ 3,000 億リットルと 1,000 億リットル。

(以上)